

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 5 月 29 日

公表: 令和 5 年 5 月 31 日

事業所名 ユニバース

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			居場所スペースは約24畳、広々とした空間になっております。
	2	職員の配置数は適切である	○			国が定める人員配置基準に準じし、職員の配置を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		一部バリアフリー化がなされているが、車椅子等の受け入れはない為、スロープなどの設備は設置されていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎日職員ミーティングを行い振り返りや情報共有を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果については、全職員と共有し業務、支援の改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		都度、学校心理士の顧問より指導を受けております。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			不定期ではありますが、外部、内部ともに研修の機会を設けております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用開始前後に学校、自宅での様子や、困っていること等ヒアリングを行い、それをもとに全職員と共有のうえ支援方針を計画しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートの作成を活用し、個々の特徴や特性の把握を行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			子供たち1人1人の課題を日々確認、共有しあい、活動の目的を話し合っております。また、職員の得意・苦手分野も共有しプログラムの立案や役割を決めております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			音楽あそび・SST・体幹トレーニング・制作活動・外出活動などの活動を曜日ごとに組んでおり、固定化しないよう定期的に活動曜日をずらし実施しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			活動内容を組むうえで、課題や目的を設定し支援につなげております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			活動内容に個別活動・集団活動を組み合わせサービスを提供しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日30分程度職員ミーティングを行い、利用者の様子、活動内容、支援の内容を確認しております。終了後には、気づいたことや支援の振り返りを行っております。また、それらは記録し今後の改善や支援向上につなげて行きます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			概ね6ヶ月に1度見直しを行っております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインに沿った支援を心掛けております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者又は、担当の児童指導員が参加をしております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校送迎時に情報共有を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		直接、保育所等への聞き取り等はしておりませんが、相談員を通じて情報共有を行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現時点では、対象となる利用者が在籍しておりません。今後そういった場合には情報共有をまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		相談員、市役所等と連携をとっております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、交流活動は行っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		こども部会を中心に開催時は担当者が参加をしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、モニタリング等で情報共有を行っております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングは行っておりませんが、勉強会の実施を不定期に開催しております。今後は定期的に行えるよう検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別でのご相談はその都度対応しております。また、相談内容等は職員と共有しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度、初めての交流会を開催いたしました。今後も、定期的に保護者様をご参加いただける会を企画していく予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		速やかに対応するとともに、保護者様との情報共有を心掛けております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動予定は毎月発行しお渡ししております。ホームページ等への掲載は行っていないため今後の課題です。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報には、細心の注意を払って保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚で分かりやすく伝達するなど、個々に配慮し工夫しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在、そういった行事は行っておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		保護者様へ、すべてのマニュアルが周知出来ておりませんが、避難訓練は定期的に行っており内容や様子は保護者様に都度お伝えしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止研修を年に1度必ず行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			年に1度全職員に対し、虐待防止の研修を行い意識の向上を図っております。また、保護者の方にも契約時にご説明しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			おやつ提供や、調理活動の際はアレルギーの確認を常に行っております。場合によっては保護者の指示を仰ぎながら対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			危険な行動があった場合はミーティングを通して全職員に共有しております。